

本年度の目指す生徒の姿

- 学校のしくみを理解し、高校生活に展望が持てる生徒
- 学びの価値に気づいて、学びに真摯に向き合う生徒
- 夢や希望を抱き、その実現を目指す生徒

取組の視点

生徒

- 価値を与えて、気づきを促す
- 自己肯定感を醸成し、展望を拓く
- 安全安心な学習環境の確保

教職員

- 原点に戻る（ねらいの意識化・明確化）
- 優先順位、スクラップ&ビルドを意識

| 重点目標 | 学校自己評価 | | | | 学校関係者評価 |
|-----------------|--|---|------|------------|---------|
| | 本年度の具体的方策 | 評価指標 | 評価結果 | 次年度以降への改善策 | |
| 学びのある授業 | 授業力の向上を全教員で協働して取り組む。特に学ぶ意欲の喚起を図る。 | 各教科で授業公開と授業研究会をセットで2回以上開催A、1回B、0回C アンケートから生徒の授業の満足度80%以上A、70%以上B、70%未満C | | | |
| 居がいのある学校生活 | 生徒の活躍場面を設定した学校行事による自己肯定感を醸成する。 基本的生活習慣の充実を目指す。 | 特活的行事への出席率が平均で70%以上A、60%以上B、60%未満C 授業の遅刻率が、20%以下A、30%未満B、30%以上C | | | |
| 進路や生き方につながる履修計画 | 進路実現に対する履修指導の構築、充実を図る。 とちぎの高校生「じぶん未来学」の効果的な計画立案と実践 | 生徒アンケートから、満足度が80%以上A、70%以上B、70%未満C 教員対象アンケートから、効果的な計画立案、実践が80%以上できたA、70%以上B、70%未満C | | | |
| 困難な状況の生徒への支援 | 望ましい人間関係の形成への支援を行う。 各部所、SC等の連携によるチーム援助に取り組むことで、生徒の困難な状況を軽減する。 | QU調査の分析から生徒の人間関係形成満足度60%以上A、50%以上B、50%未満C 相談カードに挙げられた困難な案件がほぼ解決できたA、おおむね解決できたB、不十分だったC | | | |
| 開かれた学校、外部資源の活用 | 学校ホームページの充実を図る。 公開講座の内容等を更に充実し、学悠館について地域の方々に広く知っていただくようPRする。 | アクセス数が一月1万回以上A、7千回以上B、7千回未満C 受講者アンケートから、満足度が80%以上A、70%以上B、70%未満C | | | |
| 安全安心な学習環境の確保 | いじめ防止に対する組織的対応 | 安心、安全サポート調査を基にいじめがうかがえる案件への適切な対応ができたA、おおむねできたB、不十分だったC | | | |
| | 校内巡回指導や日頃の生徒観察、声かけを実施し問題行動の未然防止を目指す。 | 校内巡回指導や生徒観察がよくできたA、おおむねできたB、あまりできなかったC | | | |

